



国土を**整**え、全力で**備**える  
国土交通省  
中国地方整備局

資料1

# 第1回検討会の振り返り

令和元年11月26日

中国地方整備局 倉吉河川国道事務所

## 天神川水害タイムラインで目指すこと

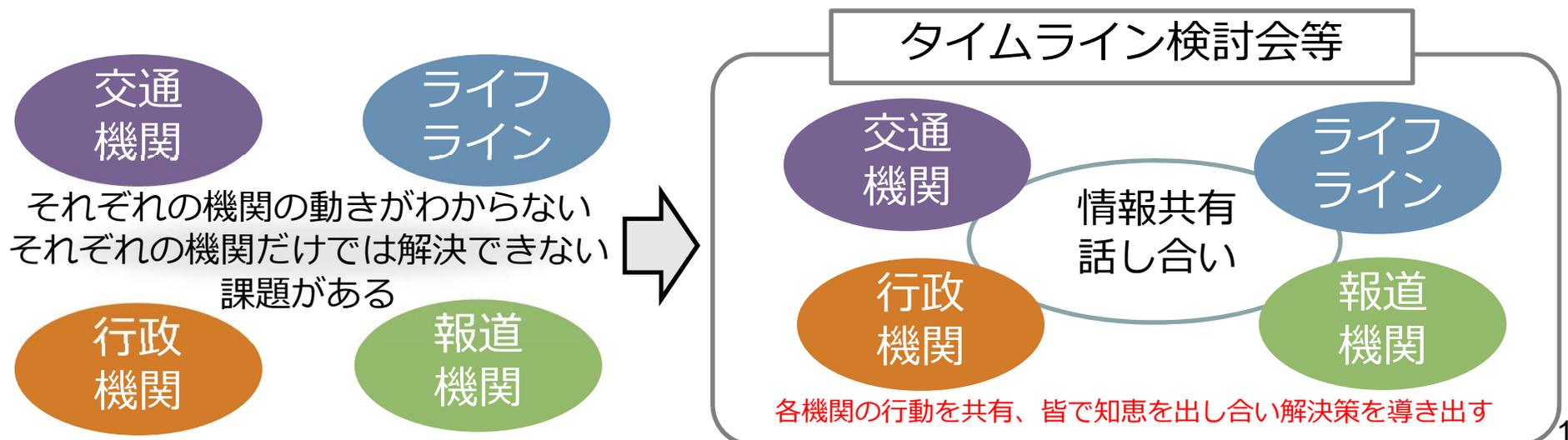
急激な水位上昇を伴う洪水、下流域では氾濫域が急激に拡大する氾濫特性を踏まえ、天神川では大規模水害に対し、ハード・ソフト対策を推進して「人命を守り、社会経済被害の最小化」を目指している。



天神川の減災のため取り組みのひとつとして  
「多機関連携型タイムライン」を作成

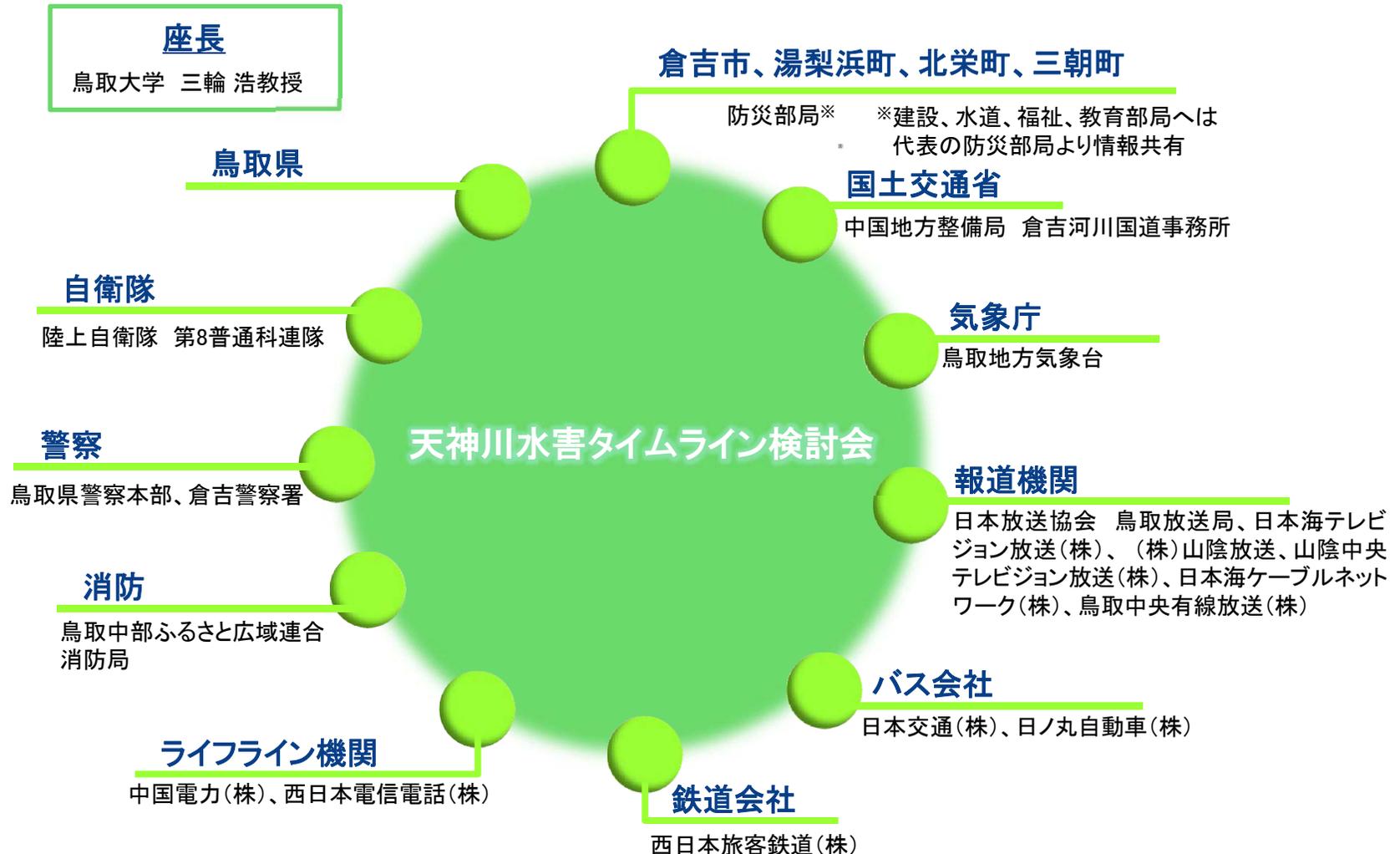
### ■ 多機関連携型タイムラインで目指すこと

これまで個別で対応していた防災に関する課題について、天神川に関わる関係者全員で、各機関の災害時の行動を共有し、知恵を出し合うことで解決策を導き出し防災対応力を向上させる



# 天神川水害タイムライン検討会の構成員

□天神川水害タイムライン検討会では、行政機関に加え、ライフライン機関、鉄道会社、バス会社、報道機関等を含む構成員で、多機関連携型タイムラインを目指す。



## 天神川水害タイムライン検討会 構成員

# 第1回検討会の概要

## 天神川タイムライン検討会 第1回ニュースレター

令和元年10月8日（火）倉吉市防災センター（10：00～11：30）

- 次第 -

1. 開会挨拶
2. 天神川水害タイムラインの概要について
3. 想定災害シナリオの把握
4. グループワーク
5. 総評

(倉吉河川国道事務所)  
(倉吉河川国道事務所)  
(倉吉河川国道事務所)  
  
(鳥取大学)

### ◆参加機関

座長	鳥取大学工学研究科社会基盤工学専攻	三輪教授
鳥取地方気象台		
鳥取県 危機管理局	危機管理政策課	
鳥取県 県土整備部	河川課	
鳥取県 中部総合事務所県土整備局	計画調査課 河川砂防課 維持管理課	
鳥取県 中部総合事務所地域振興局	中部振興課	
鳥取県 警察本部*	警備第二課	
鳥取県 倉吉警察署	警備課	
鳥取中部ふるさと広域連合 消防局	警防課	
倉吉市	総務部防災安全課	
三朝町	総務課	
湯梨浜町	総務課	
北栄町	総務課	
陸上自衛隊*	第8普通科連隊	
J R 西日本 (株)	米子支社安全推進室	
日本交通 (株)	倉吉営業所バス営業課	
日ノ丸自動車 (株)	倉吉営業所	
中国電力 (株)	鳥取電力所 変電課 倉吉営業所	
N T T 西日本 (株)	中国支店鳥取営業所	
N H K 鳥取放送局	倉吉支局	
日本海テレビジョン放送 (株)	報道制作局	
(株) 山陰放送*	報道制作局	
山陰中央テレビジョン放送 (株)	鳥取報道部	
日本海ケーブルネットワーク (株)	倉吉放送センター	
鳥取中央有線放送 (株)	事業部事業課 制作部制作課	
事務局	中国地方整備局倉吉河川国道事務所	

### ◆検討会の内容

#### ◇天神川水害タイムラインの概要について

- ・ 天神川水害タイムラインの検討経緯
- ・ 関係機関へのヒアリング結果
- ・ ヒアリング結果を踏まえた天神川水害タイムラインの方針説明

#### ◇想定災害シナリオの把握

- ・ 天神川の水害特性の説明 (①河川水位が周辺地盤より高いため氾濫した場合に広範囲に広がる、②急流河川であり水位上昇速度が速い)
- ・ 想定災害シナリオにおけるタイムラインの時間間隔について



天神川水害タイムラインの概要や想定災害シナリオの説明

#### ◇グループワーク (ワールドカフェ方式)

現在、水害時に実施している行動内容の中から「連携できること（その情報が欲しい など）」をみつけるために、ワールドカフェ方式により、二つのテーマ（①水害時に対応していること（現状）と②水害時の対応で困っていること）について、地図や付箋、シールを用いて意見交換を実施しました。

①水害時に実施していることや困っていることについて付箋に記載(行動に応じた6色を使用)

分類	付箋の色
1.組織体制・防災情報発表	赤
2.避難支援	青
3.水防活動・救助・救出	黄
4.道路・交通規制	紫
5.ライフライン対応	緑
6.水害対応で困っている事	白

②該当する場所付近（地図）に貼りながら内容を説明

前日までに「計画運休」を決定し公表する  
JR

台風接近の2日前には台風説明会の開催  
気象台

現場へ向かうための道路情報が欲しい

③“共感できる「困っていること」や「他機関の行動内容に対して連携したいこと」”にシールを貼る

テーブルチェンジにより多くの関係機関の担当者  
と意見交換を実施

#### ◇総評

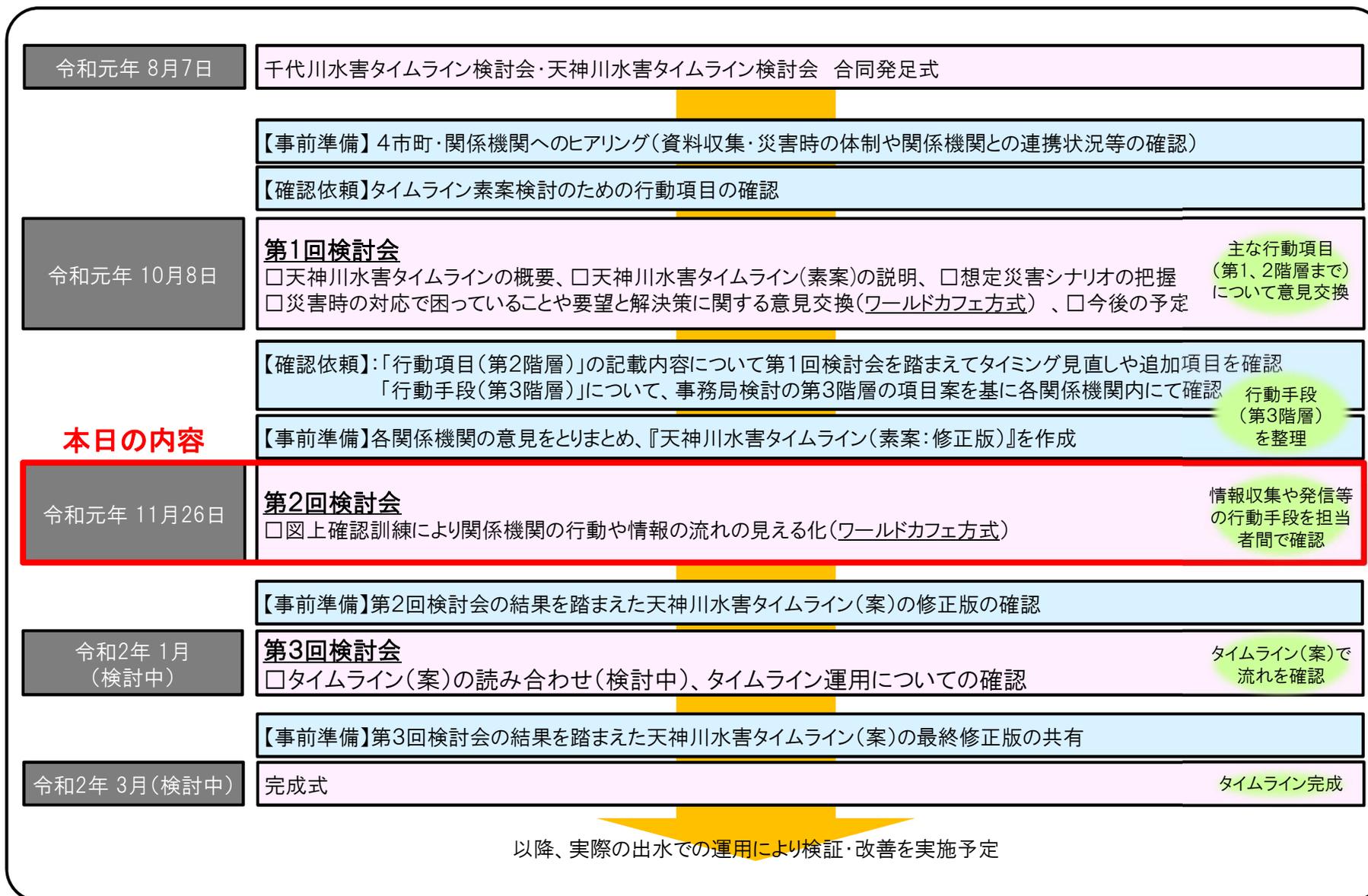


三輪教授による総評

- ・ 天神川は水位上昇が速く、特にタイムラインレベル2、3、4には時間的な余裕がありません。このため、比較的時間のあるタイムラインレベル1の段階で2、3、4を見据えた行動をとる必要があります。従って、重要な行動を精査し的確に実行することを考えなければなりません。
- ・ 各機関の担当者が行動をとる際に、他機関が発する情報をいかに連携させるかが重要です。グループワークでは情報のタイミングが大事であるとの意見があり、また、情報の内容とその波及範囲の把握も重要です。次回の検討会ではこれらの点も考慮した具体的な行動のまとめができればと思います。

\*欠席

# タイムライン検討スケジュールと本日の内容



※第3回検討会、完成式のスケジュールは、目安です。詳細については、適時お知らせします。